

2025 年 7 月 9 日 プレスリリース
リファインホールディングス株式会社

バイオマス 100 マーク取得！！
石油系素材ゼロ究極のサステナビリティ素材 “RegeNature“

有機溶剤のアップサイクルや未利用資源を活用した循環型事業を展開するリファインホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表：川瀬 泰人）が開発したバイオマス材料“RegeNature”が、日本有機資源協会（JORA）が認定するバイオマス 100 マークの認証を得ました。

マークの数字は製品に含まれるバイオマスの重量比率を示しており、100%は珍しく、樹脂・レジンの区分では過去に 6 例しかなく、“RegeNature”は 7 例目となります。これら 6 例は全てプラスチックのように溶かして、形を作る(成形)ができない樹脂添加剤や改質剤、粒子であり、成型可能な材料としてバイオマス 100 マーク認証を受けたのは、“RegeNature”が初めてです。

[樹脂・レジン | 一般社団法人日本有機資源協会](#)

【取得した樹脂】



竹由来原料を配合した樹脂及び成型品
認定番号：250019



杉由来原料を配合した樹脂及び成型品
認定番号：250020

近年、環境配慮の取り組みとして、バイオマス樹脂が普及してきましたが、これまでの市販バイオ樹脂製品は、硬度、耐久性、成形性などの観点から、主原料を植物由来にしても、製造過程において石油系成分の配合率をゼロにできないことが課題となっていました。当社開発の“RegeNature”は、合成・成形加工過程においても一切石油系成分を使用せず、バイオマス比率が 100%です。また、未利用資源（使用価値がなく廃棄されている材料）を主成分として作製しており、循環型社会を実現できる材料です。

【特徴】

バイオマス比率が高いことに加え、精密成形性、柔軟性制御、自然な外観、香りといったプラスチックでも木でもないユニークな特性を有します。未利用資源としては、木はもちろんのこと、コーヒーやお茶の残渣、貝殻、農作物廃棄物、雑草など様々なものを“RegeNature”にすることが可能であり、適用範囲は極めて広いです。

現在、玩具、ハンガー、文房具その他大型成形体などへの応用を検討しています。



射出成形に留まらず、シート成形、発泡成形も可能であり、今後ブロー成形やインフレーション成形にも挑戦していきます。

また、企業や自治体で発生する未利用資源を回収し、“RegeNature”にして価値を高め、その企業や自治体にお返しすることにより、地産地消の低エネルギーサイクルを構築する試みも進めています。

“RegeNature”を使ってみたいユーザーの皆様、お困りの未利用資源をお持ちの企業様、自治体様はご一報いただければ幸いに存じます。

【会社概要】

社名： リファインホールディングス株式会社

代表： 代表取締役社長 川瀬 泰人

本社所在地： 東京都千代田区丸の内2丁目2番地1号 岸本ビル11階

URL： <http://www.refine-hd.jp/>

設立年： 1966年

従業員数： 744名

事業内容： 有機溶剤に関わる化学事業、資源循環事業、天然資源飼料開発事業

<本件へのお問い合わせ>

リファインホールディングス株式会社

新規事業本部 リジェネイチャー推進室 担当：八百（やお）

TEL： 03-3201-3357

E-mail： info@refine-hd.jp